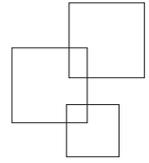


3月定例会では、2月26日に5人の議員が代表総括質疑を、27日に6人の議員が総括質疑を行い、令和6年度の施政や財政方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質疑と答弁の要旨を1人1問ずつ紹介します。

なお、総括質疑の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。

また、本定例会の正式な会議録は、市立図書館や市議会ホームページ、議会事務局などでご覧いただけます。



2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質疑の様子をご覧いただけます。

代表総括質疑



(仮称)太田西複合拠点公共施設と周辺整備について



市民ファーストの会 大川 敬道

議員 (仮称)太田西複合拠点公共施設に隣接する調整池について、睡蓮などを植えてきれいに整備してもらいたと思います。所見を伺います。

行政事業部長 調整池に睡蓮などを植え付ける計画ですが、大川親水緑地は太田土木事務所の管轄であり、睡蓮などの花の植え付けについては当該事務所の判断となります。

議員 新田地区の大きなスポーツ拠点となることが期待されるスケートパークについて、施設内で音楽を流すような運用が可能ではないかと思いますが、今後の展望と運営について伺います。

文化スポーツ部長 気軽にストリートスポーツができる場を作ることで、市内外から多くの来場者が見込まれ、にぎわいを創出し、さらなる地域の活性化が図られると考えます。施設で音楽を流す運用については、近隣への影響に配慮が必要ですが、今後検討したいと考えます。

議員 (仮称)太田西複合拠点公共施設とその周辺整備について市長の所見を伺います。

市長 調整池は県の管轄ですので、希望通りになるかは不明ですが、睡蓮などを植えるような大きな工事を県がやってくれるか確認します。また、スケートパークの事業については、人に見られる場所がいいということで最終的に新田のエアリス周辺に決定しました。今後の運営については、使用者側と管理者側の双方にとって使いやすい環境をつくっていきたくと考えます。

■その他の質問

・令和6年度施政並びに財政方針及び予算について



総括質疑



令和6年度施政並びに財政方針及び予算について —障がい者に対する施策について—



立憲民主党 岩瀬 僚

議員 障がい者雇用に対する本市の取り組みについて伺います。

産業環境部長 企業を対象に年2回障がい者雇用啓発セミナーを開催し、先進企業の事例を紹介して理解の増進を図っています。また、毎年障がい者雇用理解のある市内企業を表彰しています。さらに、市の関係部署で定期的に情報交換し連携に努めています。

議員 障がい者就労支援事業おたんワークスの取り組みについて伺います。

企画部長 障がい者の自立支援や社会参加を促す事を目的に設置し、再任用職員などのサポートのもと、各課から依頼された業務を、障がいの特性に応じて割り振っています。依頼先の時間外勤務の削減などに一定の効果を出していることから、引き続き環境を整備し、共生社会の実現に向けて推進したいと考えます。

議員 民間企業、行政における障がい者雇用の取り組みの推進と、障がい者のキャリアアップにつながる環境

を整備し、雇用および生活の場における共生社会の実現について市長の所見を伺います。

市長 障がい者が諸手当をもらいながらも、自立して生活していける環境づくりが大事だと考えます。本市でも社会福祉法人社の舎が運営するエコネット・おたやおたんワークスなどがすでに稼働しておりますが、新たにペーパーラボという事業を始める計画もありますので、適切な仕事を提供し、障がいのある人に寄り添い、協力しながらお互いを尊重することが大事だと思います。

■その他の質問

・保育の安全・安心への取組について

・不登校児童生徒への取組について



総括質疑



令和6年度施政並びに財政方針及び予算について —交通安全対策について—



太田クラブ 渡辺 謙一郎

議員 企業に対する交通事故防止の協力依頼について伺います。

市民生活部長 現状、朝夕の通勤通学時間帯に幹線道路をはじめとした道路において、スピード超過や黄色信号でも交差点に進入する車両があるなど、危険な走行が常態化していることは認識しています。現在、本市から企業に対する安全運転の協力依頼は行っていませんが、大型車両の搬出入時間帯と児童生徒の登下校時間帯が重なる通学路もあるので、太田市交通対策協議会より企業に対し、安全安心な運行についての協力依頼を検討していきたくと考えます。

議員 企業への交通事故防止の協力依頼について、市長の所見を伺います。

市長 企業に対するアプローチは非常に大切だと思います。商工会議所など関係者とお話する機会も多いので、会社では毎朝必ず交通安全の話をしてもらうようお願いするなど、アプローチしていきたくと考えます。

議員 横断歩道や止まれの標示の補修および新設については、県の管轄となりますが、市として対応することについて、市長の所見を伺います。

市長 標識やカーブミラーの充実など、市でできるものは十分に対応していきたくと考えます。横断歩道を増設する場合は、県の公安委員会と協議する必要がありますが、私からもお願いして、ぜひ積極的に設置していきたくと考えます。

■その他の質問

・経営発展支援について

・公園整備について

・公共施設の管理について

・多文化共生センターについて



総括質疑



令和6年度施政並びに財政方針及び予算について —本市の農業振興策について—



太田クラブ 町田 正行

議員 本市における未来の農業の担い手について、所見を伺います。

農政部長 未来の担い手ですが、2020年農林業センサスにおいて、5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している経営体について、本市では1,825経営体のうち258経営体、割合は14.1%であり、後継者不足が顕著となっています。このような非常に厳しい状況下において、県および関係機関と連携しながら、未来の担い手に寄り添った支援を検討していきたく思います。

議員 水稲農業経営体の現状について伺います。

農政部長 本市の1,825経営体のうち、田んぼに水稲を作付したのは844経営体で、割合は46.2%、水稲作付面積は1,116畝です。

議員 農業は生命維持産業ですが、これからの時代の農業について、市長の所見を伺います。

市長 行政が積極的に関わり、いろ

いろな意見を聴きながら、寄り添って仕事をしていくことが大切だと思います。特に水田は、ダムとしての機能も果たしますので、農地を守るために積極的に補助金を投入し、大規模化していく必要があると考えます。また、農家は生産品の価格を自分で決めることができないという市場の特性があるため、行政もいろいろな場面でバックアップしながら、太田市は農家が生き生きと仕事をしていると言われるような環境をつくっていきたくと考えます。

■その他の質問

・予算編成について

・学校教育環境について

